

TORO®

駆動シャフト交換キット

Groundsmaster® 3000 シリーズ トラクションユニット

モデル番号 163-1700SP

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行う。
駆動シャフト	1	
ワッシャ	2	
六角ソケットヘッドボルトM8-1.25 x 30 mm	6	キットを取り付けます。
六角ソケットヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x 2- $\frac{1}{4}$ "	2	
フランジナット $\frac{3}{8}$ "	2	

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. カッティングユニットを下降させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。

キットを取り付ける

1. 前アタッチメントに接続されている PTO カバーを外す図 1。

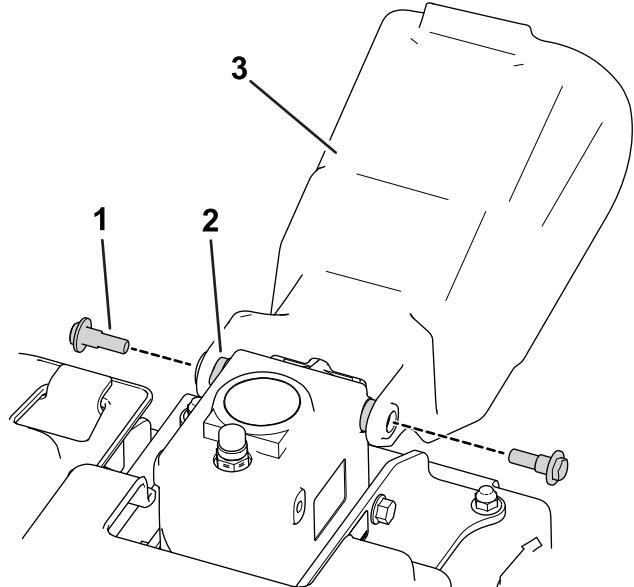
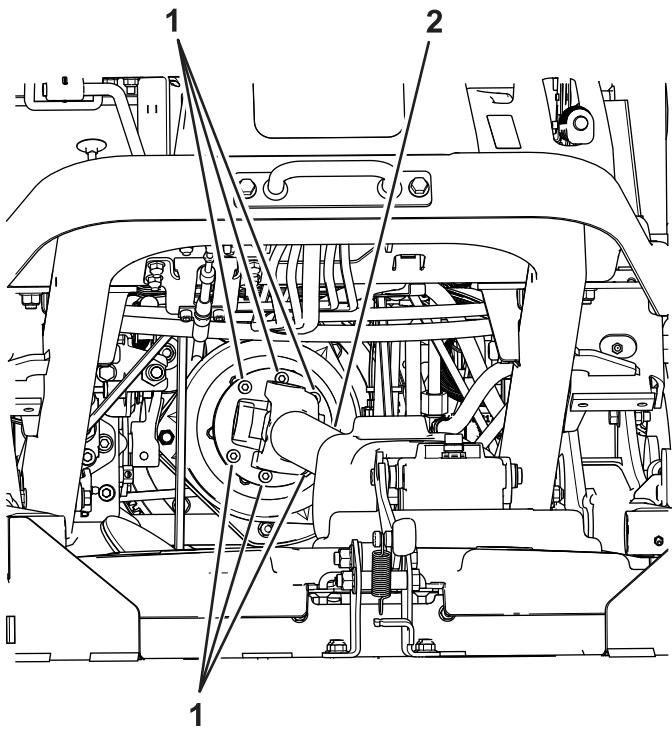


図 1

1. ショルダーボルト
2. スペーサ
3. PTO カバー
2. PTO シャフト図 4 からボルトとナットを外して前アタッチメントからヨークを出す。金具は廃棄する。



3. 駆動シャフトをクラッチに固定しているボルト6本を外す図2。金具は廃棄する。

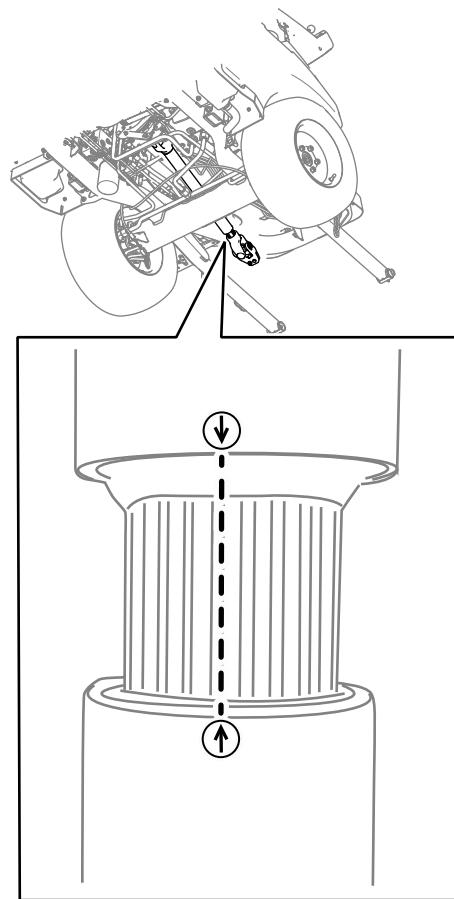


2

1. ボルト

2. PTO シャフト

g344047



3

g320510

- 機体から駆動シャフトを外す。
 - 新しい駆動シャフトをクラッチに取り付ける六角ソケットヘッドボルトM8-1.25 x 30 mm6本を使用する図2を参照。

注 クラッチフランジに対するボルト穴の位置は特に気にする必要はありません。

6. 取り付けた 6 本のボルトを、対角線パターンで $23\text{-}29 \text{ N}\cdot\text{m}$ 2.4-2.9 kg.m = 17-21 ft-lb にトルク締めする。

重要 PTO の伸縮式の駆動シャフトをクラッチから外した場合には、再取り付けの時に必ず矢印どうしを整列させてください図 3。

重要整列させないと、負荷のバランスが崩れて駆動システムを損傷する恐れがあります。

7. PTO シャフトのヨークを前アタッチメントのシャフトに通して固定する六角ヘッドソケットボルト3/8 x 2-1/4"2 本、ワッシャ、フランジナット3/8"を反対向きに取り付け、交互に締め付ける図4。

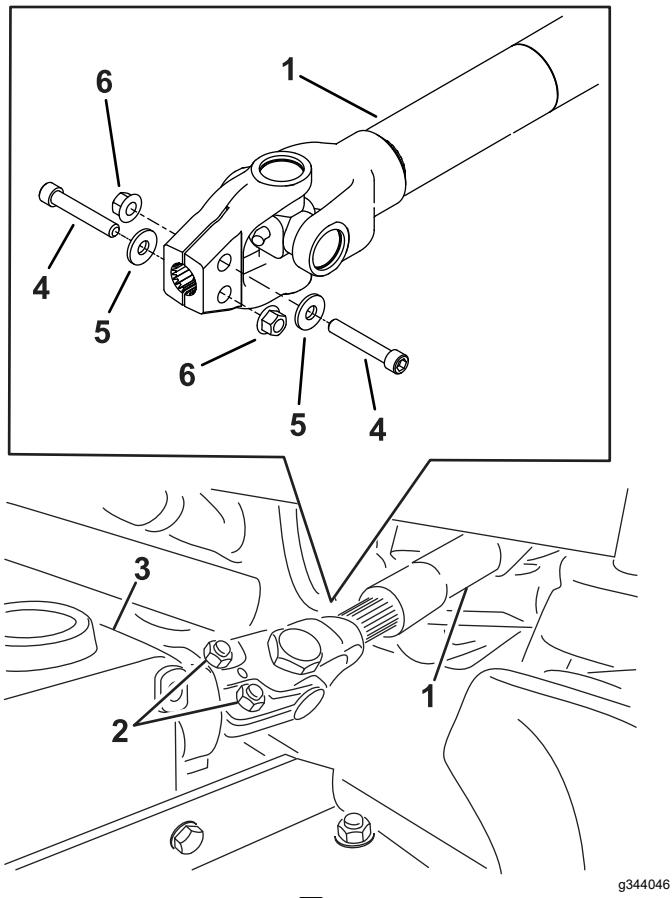


図 4

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1. PTO シャフト | 4. 六角ソケットヘッドボルト3/8 x 2-1/4" |
| 2. ボルトとナット | 5. ワッシャ |
| 3. 前アタッチメントのシャフト | 6. フランジナット3/8" |

-
8. 各ナットを 61 N·m/6.2 kg.m = 45 ft-lb にトルク締めする。
9. 前アタッチメントに PTO カバーを取り付ける図1。



Count on it.